



蒼穹

あおそら

八戸市立長者中学校
学校だより第12号
文責：石毛 清八
平成29年10月19日
TEL (0178) 43-4871

職場体験学習の 意義と成果

学習指導要領には、年5日間の職場体験学習（中学校）、または就業体験学習（高等学校）を行うことが記載されています。キャリア教育の目的は、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を養わせることです。具体的には、生徒が学校教育では味わうことができない体験を様々な形で学び取り、それをその後の生活・人生に貴重な経験の一つとして生かす努力をすることです。教える立場の教員も、受け入れ側との交渉も含めて職場体験学習のいろいろな過程で、視野を広げ自らの社会的・職業的能力や態度を向上させて、その成果を子どもの教育に生かすことが可能です。また、受け入れ側にとっては、学校教育への単なる社会奉仕的活動としてだけではなく、日頃疎遠になりがちな学校教育を考える絶好の機会となります。まさに学校教育と社会教育の理想的な融合の形です。上手に運用して教育の質を高めることが、学校を含めた地域社会の使命の一つともいえます。

生徒に学校の授業で学習する内容が実社会でどのように有効に活用されているのかを実体験させることで、学校の授業と実社会の生活との関わり合いを認識させて、授業での学習意欲を一層高め、学習効果を上げることも職場体験学習の目標の一つです。

今、子どもたちの世界はかなり狭くなっています。地域社会の人たちとの付き合いもあまり無く、家庭の中での子どもの役割もほとんど無く、放っておくと親との会話すらあまり無いという状況もあるようです。自分の親が社会でどのような役割を果たしているのかを知る機会もほとんど無いのが実情のようです。子どもたちが接する人たちの年齢や立場が均質化しているともいえます。このような状況にある子どもたちが、職場体験学習で学校の外の社会を体験することの意義は大きい。学校の中でしか通用しない学力を真の学力と錯覚し、人の言うことしかできない、過去の問題しか

解けない、自分で新しいアイデアも生み出せないというような人間は社会に出るとあまり役に立たないという一般的な常識を職場体験学習で子どもたちに自覚させる意義は大きいと思います。

また、逆に、学校のカリキュラムの中ではなかなか自分を発揮することができない子どもたちが、職場体験学習の中で、自分にはこんなことができる、自分も社会の役に立てるということを学んで帰って来るともあります。学校教育が教師と子どもたちとその保護者だけの小さな世界に閉じこもりがちになるのを防ぐためにも職場体験学習は役立っています。

子どもたちはだれでも、将来に夢を描くものです。全ての夢の実現が不可能であると子どもたちが考えた時、教育はその活力を失います。子どもたちに夢を与えるのは教師の役目ですが、職場体験学習はこれを強力に支援する存在であると思います。子どもたちが職場は厳しいが楽しく仕事ができるところという印象をもって学校に帰ってくることができれば幸いです。

職場体験学習を体験した生徒の何人かは確実にその成果を生かしています。行先に幼稚園や学校を選んだ生徒の中に先生になる人がかなりいるという話も聞きます。職場体験学習を通して受け入れ先の職場が、その仕事の本質と社会での存在意義を生徒に伝えて、その職業分野に意欲の高い人材を集めることができるでしょう。さらに、自分の職場での体験を通して生徒に奉仕の心・根本原理を伝える努力をすれば、日本の将来を担う素晴らしい若者を育てることができるでしょう。

2学年グッジョブウィーク

10月2日～6日にわたり、職場体験学習「グッジョブウィーク」がおこなわれました。受け入れ先は市立図書館など48事業所。生徒たちは働くことについての講演会や各事業所担当者との事前打合せなど本番に向けてしっかり準備し、この日を迎えました。職場体験を通し、働くことの厳しさや喜びを体で実感することができました。事業所の皆様、素晴らしい経験をさせていただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。

お礼の手紙から

新しいことをたくさん学べた

2年2組 山田 甘音

拝啓 肌寒い日が続いておりますが、陽光園の皆様には、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

さて、私たちのグッジョブにご協力いただき、ありがとうございました。みなさんととても優しく教えてくださり、とても勉強になりました。

実際にこの仕事を体験してみて、一番大変だと感じたのは、初日の水替えの仕事です。これを毎週少人数でやっているのかと、感心してしまいました。お花を摘んだり、アレンジメントを作るのは、緊張したけれど、ワクワクもしました。最初は不安も期待もあったのですが、思っていたよりもステキに仕上がりに、みなさんのご丁寧な指導のおかげだなと思いました。でも、全体の形や組み合わせを考えるのは大変だったので、たくさん作っているみなさんはすごいと思いました。

結婚式やコンサートで何気なく見ていたお花たちだけれど、こんなに手間がかかっていたのかと驚きました。また、一つ一つのお花をとても大切に扱っていたし、それぞれの種類に合わせてたくさんいろいろなことをしていて、皆さんお花が大好きなんだということが伝わりました。小さい頃とはまったく違った観点で「お花屋さんになりたい」と思うことができました。

休憩時間のマカロンやコーヒー、お団子なども嬉しかったです。新しいことをたくさん学べた、とても刺激的な4日間でした。本当にありがとうございました。

大人ってすごいなと実感させられた

2年3組 白濱 快都

拝啓 秋晴れが続いています。福聚保育園の皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

さて、先日はお忙しいところ、私たちの職場体験のためにお時間をいただき、ありがとうございました。皆様に温かく迎えていただき、楽しく過ごすことができました。

実際に仕事を体験し、園児たちの世話をする保育がとても大変な仕事だということが分かりました。サッカーの練習をするときに指導者の方々が一生懸命園児を応援したり、技を教えたり、その育てようとしている保育士の行動がかっこよく目に焼きついています。自分で働いて分かったことですが、みんなが見ていないところでも、頑張っていることがわかりました。それは、外の掃除をしたり、おやつ準備をしたりすることです。4日間で僕は、そのような仕事をし、肩が痛くて大変でした。しかし、それを何年も続けているのが、大人ってすごいなと実感させられました。こんな貴重な体験をさせていただき、自分を成長させることができた気がします。本当にありがとうございました。

これから冬へ向かい寒くなっていきますので、お体に気を付けて頑張ってください。

2年生は職場体験を終え、またたくましく成長したようです。たった5日間の経験でしたが、自分が知る華やかな場面の裏で、準備や後始末など、つらく根気のいる作業が行われていることに気づき、その仕事をやり遂げたときの満足感や充実感を味わうことができました。

